

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

栃木第1・5地区

No.	自治会	質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
1	嘉右衛門町	<p>【平成27年9月 関東・東北豪雨災害の検証】</p> <p>平成27年9月9日よりの集中降雨により夜半に巴波川増水のため、原の橋下、栃三小裏より土手を越え浸水、三小校庭に溢れ、小平町、嘉右衛門町に多大な水害をもたらしました。</p> <p>原の橋下流左側(三小側)の土手を30～50mの間30cm高くかさ上げすれば、被害も最少で済み、三小を避難所として活用できると思います。善処をお願いいたします。</p>	<p>【道路河川維持課】</p> <p>ご提案の護岸嵩上げにつきましては、河川増水時の越水を防ぎ、避難所の安全を確保するうえで有効な対策の一つと考えております。河川管理者である県におきましては、近々、河床整正等の工事を発注する予定であるとのことであり、嵩上げについても、周辺の浸水状況等を調査のうえ、検討させていただくとの回答を頂いております。</p>	<p>【道路河川維持課】進捗・対応状況：対応済</p> <p>原の橋下流の護岸の嵩上げにつきましては、栃木土木事務所から右岸側、左岸側共に平成29年度予算で、30cmの嵩上げ工事を実施するとの回答をいただいております。</p>
2	嘉右衛門町	<p>【例幣使街道の道路補修の件】</p> <p>嘉右衛門町例幣使街道も老朽化がすすみ、水たまりや石はねがひどく、ガラス戸割れの被害も発生しています。対策を…。</p>	<p>【道路河川維持課】</p> <p>ご要望の例幣使街道は、嘉右衛門町の街並みに合わせた特殊な舗装により施工したものでありますが、経年により劣化が進んできております。しかし、補修につきましては、特殊な舗装であることから、部分的な補修が困難であるため、今後、現況調査を十分に行ない、全面的な補修方法も視野に入れ検討してまいります。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
3	昭和町	<p>【災害備蓄目標】</p> <p>近年、防災に関して様々な対応をされていると思いますが、読売新聞平成28年6月8日(水)によりますと「食料の災害備蓄目標3日分」が達成されているのは約1/3の21自治体にとどまっています。</p> <p>栃木市において現状はどうなっていますか。</p>	<p>【危機管理課】</p> <p>現在の食料等の備蓄につきましては、現物備蓄として、アルファ米などの非常食を40,000食、飲料水を約15,000リットル(500ミリペットボトル30,000本分)備蓄するとともに、各種企業と災害時の支援協定を締結し、流通備蓄として協力をいただくこととしております。</p> <p>ただ、現在の現物備蓄のみでは、栃木県内で直下型の地震が発生した場合に想定される最大避難者数(約15,300人)の1日分弱の食料しか確保できていない状況であります。</p> <p>市といたしましては、今後も引き続き現物備蓄を増やし、備蓄目標3日分の達成を目指して、順次拡大してまいります。食料等の備蓄品につきましては、消費期限等の問題もあることから、災害発生時の際の流通備蓄についても確実に供給していただけるよう、協力企業との綿密な計画を練っておく必要があると考えています。市民の皆様におかれましては、ご自身のご家庭においても、いざというときに備えて最低の食料や飲料水の備蓄を心がけていただきますようお願い致します。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
4	小平町	<p>【「観光」と「川の安全」】</p> <p>栃木市は巴波川に鯉の放流をして「鯉のいる街・蔵の街」として知名度の高い観光地となっております。</p> <p>そして市民の一人一人が鯉を大切に、餌を与えている姿があり、足音に反応して鯉も近づいてきます。</p> <p>ところが、昨年9月9日の豪雨により小平橋の下でも土砂が堆積して、河川区域が半分になっております。河道部分を確保することは災害防止の観点からも重要です。</p> <p>川の流れを良くするために、巴波川の川底さらいを実施していただきたいと思っております。</p>	<p>【道路河川維持課】</p> <p>ご要望の箇所につきましては、現地調査を実施して現況を確認し、河川管理者である県に対し河床等の整備をお願いいたしました。県においては工事時期を前倒しで、近々河床整正等の工事を発注する予定であるとの回答を頂いております。</p>	<p>【道路河川維持課】進捗・対応状況：対応済</p> <p>巴波川の河床整正等の工事につきましては、栃木土木事務所から平成29年2月上旬までに完了した旨報告いただいております。</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

栃木第1・5地区

No.	自治会	質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
5	万町三丁目	<p>【巴波川の中にある、歩行可能になっている石垣の撤去】 巴波川開運橋付近から上流の、川底両端の部分の石垣があると、大雨による増水の時、巴波川から溢れる水が住宅地に入り、水害が大きくなると思うので、取り払ってほしい。</p>	<p>【道路河川維持課】 川底両端の石垣(根継)につきましては、護岸石積の水面下部分及び護岸そのものを洪水時に保護するための施設であり、撤去してしまいますと洪水時に護岸が損壊する恐れがあります。このため、所管する県より、石垣を撤去するのではなく、河床を整正することで流下能力を良くしていきたいとの回答を頂いております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
6	万町三丁目	<p>【巴波川の河床(川底)の採掘をお願いしたい】 2015年9月に発生した50年に一度といわれる豪雨により、栃木市は大きな被害を受けました。私たちの住む万町3丁目は住宅の一部が巴波川沿いにあります。その地区の住宅は床上浸水の被害を受けました。 そこで、今後起こりうると思われる豪雨時の被害を少しでも少なくするために上記テーマを提案いたします。是非真剣に検討いただきたい。</p> <p>1 現在の流水量について…(B) 2 現在の河床を採掘することにより確保できる流量…(A) 3 採掘により確保できる流量(A)－現在の流量(B)＝増量された流量(C)</p> <p>50年に一度といわれる昨年の豪雨による巴波川の増水量を(C)だけで全部消化できるとは考えませんが、増水量のかなりの水量を吸収できるのではないのでしょうか。採掘する前提には、上流のどこから下流はどこまでを採掘するのか、採掘する深さはどのくらいが適当かなど、河川に関する専門的な問題の検討や、予算措置が出来るのかなどの経済的な問題など多くの検討課題や問題があると存じます。 しかし、巴波川は旧栃木市の中心を流れ、観光的にも大きな存在です。現在観光客のために運行している船を眺めるにつけ、底が見える薄汚い環境での船遊びをせっかく栃木に来ていただいた訪問客にさせていただくのは誠に申し訳ないと思うのは私だけではないと思います。</p>	<p>【道路河川維持課】 本市を流れる巴波川につきましては、昨年9月の豪雨により市街地をはじめ多くの地域で河川の氾濫による被災を受けました。今回ご提案の河床の採掘による河積(河川の横断面において、水の占める面積)の確保につきましては、河川管理者の県に確認しましたところ、護岸は構造的に深く設置されていないので、河床を下げることは困難であることから、河床の整正や、経年劣化による護岸の修繕により流れを良くすることで、適正な管理を実施していくとの回答を頂いております。 また、巴波川の溢水被害については、今回の豪雨の出水状況や被災原因の調査・分析等を行い、その結果をもとに、効果的で有効な治水対策が実現できるよう、県を始めとする関係機関と連携しながら取り組んでいるところであります。</p>	<p>【道路河川維持課】進捗・対応状況：一部対応 巴波川の溢水被害における出水状況や現況確認については、市と県とで実施いたしました。 現在は、調査、確認の結果を元に今後の治水対策について、検討しているところであります。</p>
7	箱森町東部	<p>【巴波川の河川の浚渫について】 箱森町東部自治会は栃木市運動公園の南側に位置し、荒川と巴波川が流れている。第3小学校の西側の一部が自然堤防でたびたび氾濫の危険があったが、護岸工事が完了しホッとしていたところ、先の豪雨でこの堤防から西側及び第3小側へ溢水し、当自治会でも4棟の床上及び床下浸水が発生した。 このときに運ばれたと思われる土砂が荒川合流地点から第3小学校プールの西川あたりまで30cm以上の堆積が確認され、次の災害が危惧されるため、川床の浚渫を行ってほしい。</p>	<p>【道路河川維持課】 ご要望の箇所につきましては、現地調査を実施して現況を確認し、河川管理者である県に対し河床等の整備をお願いいたしました。県においては工事時期を前倒して、近々河床整正等の工事を発注する予定であるとの回答を頂いております。</p>	<p>【道路河川維持課】進捗・対応状況：対応済 巴波川の河床整正等の工事につきましては、栃木土木事務所から平成29年2月上旬までに完了した旨報告いただいております。</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

栃木第1・5地区

No.	自治会	質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
8	箱森町東部	<p>【デジタル教科書の現状について知りたい】</p> <p>文部科学省は小学校におけるコンピューターのプログラミング教育を2020年度から必修化する方針を決めているが、これに先立ち、2010年に出されたデジタル教科書の活用が、学習指導要領が目指す、“学習者主体の学び”を実現する上で重要なツールになると思われる。そこで栃木市の取組の現状を知りたい。</p> <p>また、指導者用デジタル教科書はどの位普及しているか、学習者用の端末はどの位整備されているか現状を知りたい。</p>	<p>【学校教育課・学校施設課】</p> <p>栃木市では、平成25、26年度のICT(情報通信技術)活用研究モデル校において、コンピュータや実物投影机、電子黒板などの情報機器やインターネット上の様々なコンテンツを活用した授業について研究しました。現在、その成果を生かし、市内の各学校においてICTを活用した子どもたちの学習意欲を高める授業を行っています。</p> <p>デジタル教科書についても、教科書の紙面を拡大表示できるだけでなく、動画や音声など様々な教材が含まれており、その活用により児童生徒の興味関心を高めたり、学習内容をわかりやすく説明したりすることができるなど、その効果が期待できます。</p> <p>現在使用しているデジタル教科書は、教師が授業において教材の一つとして使用しており、国語や理科の授業において一部利用している学校もあります。デジタル教科書の使用に必要な電子黒板の整備につきましては、現在市内の各校に1～2台であり、各教室で常時使用するには不十分な状況です。電子黒板の整備と併せてデジタル教科書の導入を計画する必要があると考えております。</p> <p>学習者用の端末は、各学校のパソコン室に1学級の人数分整備されています。タブレットPCは、ICT活用研究モデル校において、グループに1台での使用を想定して導入し、現在も様々な授業において活用しています。</p> <p>児童生徒が教室内で学習者用端末を使用するには、インターネットやサーバーに接続するための無線LANの環境が前提となります。現在無線LANの環境の整備は、パソコンのリース更新に併せて行っており、平成31年度までに学習者用端末の整備を行ってまいります。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
9	泉町	<p>【災害時の連携体制の明確化について】</p> <p>昨年、秋の未曾有の大雨・洪水災害の対応体制については各部署で反省、新体制の構築が図られていると思いますが、個人的にも体験し、疑問に感じた対応について確認いただきたいのと、今後の体制についてのご提案として提出させていただきます。</p> <p>大きく感じた疑問点は情報のピラミッドができあがっていないという点で、現在行政側で進めつつあるものとは認識しております。その際に「警察」の役割をもっと明確にお示しいただきたいと考えております。泉町には泉町交差点、例幣使街道と当時洪水被害にあった箇所が多く、そのような際に車が進行した場合、二次災害を誘発する危険があります。道路状況を見極め、いち早く通行止・迂回指示を出せるのは警察署が最適と考えます。当時も交通整理はしていたと思いますが、「その先はどうなっているの？」との視点まではなかったように感じられます。警察は県の管理下にあることは理解しておりますが緊急時の道路の管理・誘導は警察との協力関係強化は欠かせません。</p> <p>情報の収集・指示などのヘッドクォータの役割と避難所の管理は「役所」、重所・避難誘導は「消防」、道路状況の把握・管理・誘導は「警察」、のような体制を早期に整え、大雨に限らず今後想定される大震災等緊急時に人的被害を最小限にとどめられる、安心した緊急時対策を各自治会レベルにまで落とし込める街づくりを切に望みます。</p>	<p>【危機管理課】</p> <p>栃木市の災害対応の体制につきましては、副市長を本部長とした「警戒本部」を設置し、台風等の接近に伴う今後の災害発生に備える体制、さらに、豪雨等により被害が発生しその対応を行う市長を本部長とする「災害対策本部」の体制があります。いずれも各本部長のもと、部を中心とした班体制を組み、対応を行うこととしております。</p> <p>昨年の災害時におきましては、消防につきましては、市の組織として本部に組み込まれておりましたが、警察につきましては、災害対策本部事務局や道路関係部署と個別に情報等を確認しておりました。市の本部の中でも十分な情報共有が出来なかったことを反省し、今年度の組織機構の見直しに合わせ、新たに災害対応体制を見直いたしました。</p> <p>今後における警察署との連絡体制につきましては、災害発生時に警察署から連絡員を対策本部に派遣していただく方向で進めており、警察署との連携をより深めていきたいと考えております。</p> <p>また、自治会等への災害情報等の連絡体制につきましては、各自治会へ「防災ラジオ」を無償配布しますので、市からの緊急情報や災害情報の収集に活用いただくとともに、それぞれの地域の自治会や自主防災組織との緊急時の連絡体制の構築に向けて検討してまいりたいと考えております。</p>	<p>【危機管理課】進捗・対応状況：一部対応</p> <p>大規模な災害が発生した場合の警察との連携につきましては、市の災害対策本部に栃木警察署から連絡員を派遣していただくことで調整をいたしました。今後におきましても、関係機関との情報の共有、連携の強化に努め、円滑な対応を図ってまいります。</p> <p>また、災害時には自治会等との連携も大変重要となりますことから、まずは、気象情報や災害に関する情報を迅速に伝達することを目的とし、各自治会に防災ラジオを配布させていただきましたので、災害時の情報収集等にご活用いただきたいと思います。</p> <p>今後におきましては、自治会等との緊急時の連絡体制を構築し、様々な情報を共有しながら、より円滑な災害対応が図れるよう努めてまいります。</p>
10	日ノ出町	<p>【杣玲川清掃に支障をきたすヘドロの撤去】</p> <p>杣玲川の底にたまったヘドロによって、清掃に支障をきたしています。深い所は大人の腰以上もあり、人力での清掃は困難です。</p>	<p>【道路河川維持課】</p> <p>ご要望の箇所につきましては、地元においても清掃は困難と思われるので市において堆積土砂の除去を考えております。また、他の箇所の清掃等につきましては、引き続きご協力をお願いいたします。</p>	<p>【道路河川維持課】進捗・対応状況：対応済</p> <p>平成28年8月に清掃を実施いたしました。</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

栃木第1・5地区

No.	自治会	質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
11	箱森中央	<p>【旧赤津川、箱森交差点の治水対策について】</p> <p>昨年9月50年に1度という豪雨に栃木市はみまわれました。箱森交差点には70cm以上の深さまで氾濫し、緊急車両は迂回路を探すことを余儀なくされ、市民は生活道路(生きている道)が閉ざされ指定避難所も浸水し移動ができなくなりました。</p> <p>50年に1度といいますが、異常気象になっていることは周知の事実であり、今後も同様の豪雨は発生するものと考えます。</p> <p>今回箱森地域は自治会員の協力を得て、独自の情報収集を行い氾濫した水の軌跡を辿りました。結果、ご年配の方に伺うと、その昔、バイパスや箱森北部の開発が進む以前の水の軌跡の通りであったことが分かりました。旧赤津川の増水が巴波川沿岸の氾濫につながっていると推察されるものです。</p> <p>別紙「箱森中央 資料①、②」のとおり、運動公園北部を上流とした旧赤津川は、運動公園北部の開発地周辺および公園内の排水により増水し、いそはた歯科で南下するところで狭くなるため水嵩が増し、道路に氾濫しました。この氾濫水は不二家東側道路を南下し、バイパスへ流れ込み箱森交差点の氾濫に影響しました。箱森交差点の氾濫水は、旧赤津川に再び流れ込み巴波川へ合流し増水に影響したと推察されます。また箱森交差点の氾濫水はカワチ薬局北側の清水川にも流れ込み、カワチ裏で狭くなることで水嵩が増し、関口海苔店裏で氾濫しました。その氾濫水は東側の側溝に入り、そこから氾濫した水は田を超えて再び旧赤津川へ合流しました。その昔は水田が自然のダムとなりましたが、開発された現在はそのまま旧赤津川へ流れ込みます。</p> <p>つきましては以下の治水事業を提案させていただきます。箱森地域だけでなく巴波川沿岸の皆様のご安心にもつなげ、災害のない町＝栃木市にさせていただきたくご尽力をよろしくお願い致します。</p> <p>また、栃木バイパスの沼和田川原田線交差点の自転車用歩道が消えていますので、対応をお願いします。</p> <p>提案1:旧赤津川増水原因の調査 提案2:箱森交差点の排水能力向上(排水ルートに分岐、新設) 提案3:運動公園北部および公園内の排水ルートに分岐、新設 提案4:清水川の排水ルートに分岐、新設</p>	<p>【道路河川整備課・交通防犯課】</p> <p>今回の治水事業に関する4つの提案でございますが、提案1につきましては赤津川の伊吹橋周辺での越水の一部が流れ込み、旧赤津川の増水の主な原因となっているところから、赤津川の越水対策として堆積した土砂の除去を管理者である栃木県に要望したところ、東北自動車道から北側1kmの区間の土砂除去を実施しており、今年度も引き続き土砂除去を行う予定であります。</p> <p>提案2の箱森イオン周辺交差点の排水能力の向上につきましては、道路の管理者であります栃木県に排水能力の向上について要望をしております。</p> <p>提案3の運動公園北部及び公園内の排水のルートにつきましては、運動公園の一部も調整機能を有し、周辺開発につきましても基準を満たし対策がとれていることから、今後も周辺開発につきましては適正な指導を行ってまいります。</p> <p>提案4の清水川の排水ルートにつきましては、清水川の負担軽減策として、現在、和光メガネ付近の清水川に流れ込む支川の水の調整機能を持った河道を整備中であり、早期完成を目指しております。</p> <p>いずれにいたしましても、旧赤津川や清水川につきましては、巴波川に流れ込む水路であり、巴波川の水位に左右されてまいります。そこで、現在栃木県と協力して巴波川の浸水の検証及び対策の勉強会を行っているところであり、今後も県と協力して浸水対策を進めてまいります。</p> <p>なお、市内の各水路等の堆積の著しいものに関しましては、土砂を除去して被害軽減に努めてまいります。</p> <p>また、栃木バイパスと沼和田川原田線交差点の自転車用歩道が消えているとのことですが、こちらにつきましては所管しております警察に路面表示を要望してまいります。</p>	<p>【道路河川整備課・交通防犯課】進捗・対応状況:一部対応</p> <p>提案1につきましては、平成27年度に吹上町地内の東北自動車道から上流約1kmの区間の工事を行ったところであり、今年度その上流側都賀町木地内の東北自動車道までの区間約1kmを施工中で平成29年3月までに完了する予定であるとの回答をいただいております。</p> <p>提案2の箱森交差点の排水能力の向上につきましては、栃木土木事務所からは、流末の調査を含め排水能力の向上について検討中との回答をいただいております。</p> <p>提案3の運動公園北部及び公園内の排水ルートにつきましては、周辺開発の引き続き適正な指導を行ってまいります。</p> <p>提案4の清水川の排水ルートにつきましては、支川の館野川の水の調整機能を持った河川整備を進めております。</p> <p>栃木バイパスと沼和田川原田線交差点の自転車用歩道が消えているとのことですが、こちらにつきましては所管しております警察に路面表示を要望いたしました。なお、警察の方針として自転車用歩道は撤去していくとのことで路面標示は困難との回答でした。</p>
12	参加者	<p>地方都市リノベーション事業について、整備する各施設にぜひ避難所の機能も持たせていただきたい。対象地域の周辺は浸水被害の大きかったところですので、避難所の機能を設計の段階で盛り込んでいただきたいと思っております。ぜひご検討いただければと思っております。</p>	<p>旧栃木中央小学校を改修して整備する(仮称)地域交流センターについては、避難所機能を設けるということで検討しております。その他の施設、例えば(仮称)文化芸術館等は建物の性格上、避難所にそぐわない点もあるかと思っておりますので、その辺はご理解いただきたいと思います</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
13	参加者	<p>とちぎメディカルセンターしもつがについて、駐車場の動線の問題はご存知でしょうか。これは病院にもお伝えしてあるのですが、駐車場の出入口が1か所なので、車が集中すると渋滞して出るのが時間がかかってしまいます。駐車場の動線の改善と出入口の増設のご検討をお願いします。</p>	<p>病院の駐車場周辺、特に料金所のところが混雑するという話を聞いております。ご質問があった点は、センターより「検討していく」との回答を得ておりますが、早期に改善が図られるよう、市としても働きかけていきたいと思っております。</p>	<p>【健康増進課】進捗・対応状況:一部対応</p> <p>駐車場の動線改善や出入口の増設については、周辺道路の状況や施設の配置関係により、すぐには難しい状況でありますので、午前中の混雑時には料金所に係員を配置して、駐車券や料金の受け渡しを行ったり、駐車場内にも誘導員を配置し対応しております。</p>
14	参加者	<p>定住促進支援事業について、UIJターン者以外の方でも、空き家等改善資金利子補給制度は利用できるのかお聞かせください。</p>	<p>空き家等改善資金利子補給制度については、UIJターン者以外の方であってもお使いいただけます。いろいろな目的でお使いいただける制度ですので、ぜひご活用いただきたいと思います。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

栃木第1・5地区

No.	自治会	質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
15	参加者	<p>地方都市リノベーション事業に関連して、1点だけお聞きします。旧市役所本庁舎、(仮称)文化芸術館の建設予定地の前には都市計画道路が走っています。せっかくの機会ですから、真っ直ぐに抜いたらどうかと思うのですが、この辺の検討についてはいかがでしょうか。</p> <p>それと、新設される市道の敷地は、旧栃木中央小学校跡地の中に確保されているのでしょうか。</p>	<p>その都市計画道路は、今回の整備対象区域の北側にかかっております。その部分の道路整備は今回行うということではなく、道路予定地には歩道等を整備し、将来道路になっても問題のないような形で整備したいと考えております。建物が道路にかからないように配置しまして、道路整備の際に支障のないような配置計画を立てております。また、この都市計画道路は計画的に整備を進めておりまして、現在、小金井街道のほうを整備中で、バイパス化を進めております。東武鉄道を陸橋で越えて、市の中心部に入ってくるころまでは事業化しておりますが、都市計画道路は整備費もかかるものですから、今お話しいただいた点については、今後計画的に進めていきたいと考えております。</p>	【左記回答要旨のとおり】
16	参加者	<p>地方都市リノベーション事業について、1つ質問させてください。この事業は定住促進支援事業と併せて、これからの魅力あるまちづくりに非常に重要な事業だと思います。先ほどの説明の中では国の補助事業というお話でしたが、全体の計画の中で、市の負担がおおむねどれくらいか教えていただけますか。</p>	<p>全体の事業費が約56億円かかりまして、そのうち国から約20億円の交付金を入れて、事業を進めることしております。</p>	【左記回答要旨のとおり】
17	参加者	<p>昨年の水害において、巴波川の開運橋から水が溢れたのは、河床に砂利がたまっていたからです。また、同じく大川橋や泉橋から水が溢れて栃木病院の前を流れていった関係で、大川橋から万町三丁目の地域が全滅で、それが結果的に市役所のほうへ流れていったわけです。</p> <p>そこで、先日の巴波川一斉清掃の際、市長に「開運橋の下の砂利だけはとりあえず取ってください」とお伝えしたわけですが、そうしないと砂利がたまって水が止まってしまって、栃木の名物である鯉が上がってこられなくなってしまったんです。何とか砂利を取り払ってほしいと思います。</p>	<p>巴波川の土砂については、大変ひどい状況でありまして、市としても県に何回か要望しております。特に、7月27日に県議会の県土整備委員会の現地視察がありまして、県議の皆さんにも最重点要望地区として現場を見ていただき、支援の言葉をいただいたところです。また、翌28日には、市長が知事に直接要望してまいりました。</p> <p>県の状況としましては、すでに土砂をさらう工事を発注しており、順番に工事に入っていくとのことです。間もなく現場のほうで工事が始まると思われますので、もう少しお時間をいただきたいと思います。</p> <p>県としても、もっと早く実施したいということなのですが、赤津川や永野川の状況もひどく、順番に実施していくということでご理解いただきたいと思っております。</p>	【道路河川維持課】進捗・対応状況：対応済 巴波川の河床整正等の工事につきましては、栃木土木事務所から平成29年2月上旬までに完了した旨報告いただいております。

No.	自治会	質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
18	参加者	<p>栃木市嘉右衛門町伝建地区の防災、環境改善と大町自主防災緊急災害時に対する井戸ポンプの設置について提案いたします。</p> <p>大町公民館北側にある大ぬかり沼は、以前は沼地中央より湧水として出ており、大町から万町の櫻井肥料店までの間、約900m清らかな水が流れ、子どもたちの水遊びの場として、また、町内の飲み水として利用していた時期もありました。</p> <p>現在は1m強の川幅となり、岩舟町の間知石で土手が組まれ、情緒豊かな「大ぬかり沼」用水路としてありますが、現在は湧水が枯れてしまいました。</p> <p>平成24年度、嘉右衛門町が国の伝建地区に選定され、嘉右衛門町が主体となり、関連する泉町、大町の3つの町で、市の指導により伝建地区協議会が設立されました。</p> <p>伝建地区は江戸時代からの商家町として繁栄し、土蔵や見世蔵等の木造の伝統的な建築物が日光例幣使街道に沿って並ぶ町並みが特徴であります。</p> <p>観光客の集客を考えると、防災の面で火災に対する認識が重要であり、「大ぬかり沼」を水源として以前のように井戸ポンプを設置し、常に清らかな水が流れるようにすることで、万一の火災に対しても用水路数か所に水門を設置して初期消火にも大いに貢献でき、さらに環境面でも夏場の悪臭等の改善策となって景観維持にも役立つと思われます。</p> <p>また、平成24年度に大町自治会に自主防災会を設置して以降、防災に対する意識の向上を図り、防災備品の設置、ハザードマップの作成、高齢者の実態調査、避難訓練の実施等を行って万一の災害に備えております。</p> <p>また、公民館も新築いたしまして、一時の避難所として機能できるようにしてあります。</p> <p>現在、国内でも自然災害が各地で多発している状況であり、栃木市でも昨年のような大きな水害があったことから、万一を想定して井戸ポンプを設置し、2電源の方式による水の補給方法の確立を要望いたします。</p>	<p>左記内容の要望書の提出がなされました。</p>	<p>【消防総務課】進捗・対応状況：対応済 今般の消火活動における消防水利は主に消火栓、防火水槽、防火井戸を使用しております。また、消防用の水利としては、毎分1,000L以上で、かつ連続40分以上の給水能力を有するものであり、取水部分が水深50cm以上必要であります。この条件を満たしたものを消防水利として指定しています。</p> <p>ご提案いただいている井戸ポンプ設置による「大ぬかり沼」の火災時に使用する案は、毎分1,000Lの放水に耐えうる水量を常に確保することが困難であると思われます。よって、消防水利としての要件を満たさないため、消火活動には適さないと思量いたします。</p> <p>なお、大ぬかり沼及び水路周辺には消火栓及び防火井戸が十分に設置されている状況であります。水路の状況が消防水利の基準を満たすものであれば、有事の際の使用は可能です。</p> <p>【危機管理課】進捗・対応状況：対応済 災害発生時の飲料水の確保に関しましては、現在、約17,000リットルの備蓄を行うとともに、23箇所の災害時飲料水用井戸で対応することといたしております。</p> <p>さらに、不足する場合には、民間企業や関係機関と災害時応援協定を締結し、応急給水や飲料水の提供に協力いただけることとなっておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>【蔵の街課】進捗・対応状況：対応予定 本市におきましては、災害に対し脆弱な面が多い伝建地区住民の生命及び財産を災害から守ることを基本方針とし、嘉右衛門町の歴史的な景観を活かしたまちづくりを更に推進するため、伝建地区に適した防災計画を平成29年度に策定することとしており、現在は、計画策定に必要な嘉右衛門町伝建地区内の災害履歴や延焼シミュレーション等のデータ収集、火災警報器や可搬ポンプ設置等の実証実験、住民の災害意識調査などを行っているところであります。</p> <p>策定する防災計画の内容といたしましては、古い木造建造物の多い伝建地区でありますので必然的に火災、特に初期消火体制に重点を置いた計画になるものと考えております。</p> <p>その上で、嘉右衛門町伝建地区の立地条件や延焼シミュレーション等のデータに基づき、伝建地区防災の有識者や地区関係者等により構成する検討組織において検討いただき、当地区に最も適した初期消火体制を構築することとなります。</p> <p>よって、防災計画策定協議の中で、ご提案いただきました「大ぬかり沼用水路」も含めまして水源対策も検討して行くこととなります。</p> <p>[参考]業務内容 (1)総合防災対策 ・住民の防災意識の把握(アンケート調査の実施) ・自然環境、過去の災害履歴の調査 ・地域内外における連携体制の検討 ・住民や職人などの地域の担い手との勉強会の開催 ・各種災害発生時の行動指針の検討(特に水害対策) (2)火災対策 ・町並み延焼リスクの把握 ・既存消防力の評価 ・地域住民らによる早期発見・初期消火体制の検討 ・各戸の避難経路の把握 (3)震災対策 ・歴史的建造物の耐震診断・補強検討ガイドラインの整備 ・耐震性能サンプル評価 ・細街路閉塞危険箇所の把握 ・耐震化推進の事業スキーム構築</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

栃木第1・5地区

No.	自治会	質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
19	参加者	<p>県道の栃木環状線ですが、深夜0時30分から1時頃にかけて暴走族が多く走っておりまして、住民の方は非常に困っております。住民の安全、安眠を守るためにも、ぜひ市から県警に要望していただき、栃木環状線を取締りの重点区域に指定していただき、パトロールを強化していただきたいと思っております。</p>	<p>要望とのご意見のため、当日は回答いたしませんでした。</p>	<p>【交通防犯課】進捗・対応状況：対応済 警察に取り締まりの要望をいたしました。なお、栃木環状線等を暴走し暴走族15人を28年9月には検挙したとのことで、今後も暴走行為を見かけたら、110番通報をお願いしたいとのことでした。</p>
20	参加者	<p>前々回のふれあいトークでも要望したのですが、ハクビシンの問題です。市役所のすぐ近く、大通り沿いにハクビシンが住んでいます。前々回の際は個人で対応してくださいということでしたが、市役所のすぐ近くなので市役所で駆除していただきたい。</p>	<p>要望とのご意見のため、当日は回答いたしませんでした。</p>	<p>【農林整備課】進捗・対応状況：対応済 8月2日に市役所本庁舎および立体駐車場を確認しましたところ、ハクビシンが住み着いている様子はないものの、立体駐車場内に侵入した痕跡を発見いたしましたので、捕獲用の小型箱わなを設置いたしました。しかし、捕獲には至りませんでした。その後も定期的に見回りを行っております。</p>
21	参加者	<p>昨年もこのふれあいトークに参加しましたが、子育て世代や若い方々、女性の参加者が非常に少なく感じます。行政として、幅広い世代の方々の意見を聞くアイデアを何かお持ちでしょうか。</p>	<p>子育て世代、女性の参加促進についてのご質問ですが、我々も幅広くご意見をいただきたいと思っております。 このふれあいトークは、もともと自治会にお願いしてお集まりいただいたので、栃木地域では参加者も自治会の方中心となっておりますが、他の地域では子育て世代、女性の参加も増えてきております。会場の都合もあります。栃木地域でも幅広くお声掛けしていきたいと考えています。</p>	<p>【シティプロモーション課】進捗・対応状況：一部対応 若い人、女性の参加者が少ないというご意見は、数年前からいただいております。市でも対応を検討していたところですが、平成28年度は高校生を対象とした市長との懇談会を実施いたしました。高校生が、市の課題・改善点の検討を踏まえたまちづくりに関するアイデア等の発表をし、その内容に対する講評を市長が行う形で実施いたしました。また、市長とのフリートークも併せて実施し、行政を身近に感じていただくことで、社会に参画していく意欲の向上につなげていただけたのではないかと考えております。 また、平成29年度には子育て世代を対象としたふれあいトークを開催することで検討を進めております。実施時期や内容につきましては、決定次第広報等でお知らせしてまいります。</p>
22	参加者	<p>文書館の設置についてです。先ほど地方都市リノベーション事業の説明の中で、(仮称)文化芸術館及び(仮称)文学館のお話でしたが、地元説明会に参加した時に、いろいろな方から「文書館の計画はないのか」という質問が出てまして、その際に担当の方は「計画はない」とお答えになっていました。 栃木市は「蔵の街」ということで、現在200棟近くの蔵があるかと思うのですが、所有者が高齢になり、持っている文書をどうしてよいかわからないという状況になっています。「文書を市に寄託できれば助かる」という話も聞いていますが、このままではせっかくの貴重な文書群が散逸してしまうかもしれません。昨年の水害で、文書がかなりダメージを受けてしまったという話も聞いています。どうすれば文書館ができるのかお聞かせ願いたい。</p>	<p>今回の地方都市リノベーション事業の計画の中に、文書館の整備が入っていないのは、説明会でも説明してきたところですが、文書については古いものが出てきた時に、市の文化課にご連絡いただければ、その文書について調査し、場合によっては市に寄託・寄贈ということも承っております。 積極的な呼びかけをしていないということですが、我々も貴重な文書群が今後どんどん散逸してしまう恐れを持っておりますので、何らかの形で広報していきたいと考えています。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

栃木第1・5地区

No.	自治会	質問要旨	回答要旨	経過・対応報告
23	参加者	<p>嘉右衛門町の読み方が「カウエモンチョウ」となっていますが、母音が3音続いた場合には音便変化して、なくなったり伸びたり縮んだりするものなのですが、このような読み方をしているのは栃木市だけです。</p> <p>国立国会図書館のデジタルデータコレクションで公開されている『栃木繁昌記』でも「カエモンチョウ」という読み方になっているので、昔から続いている読み方に変えてもらいたい。</p>	<p>嘉右衛門町の読み方につきましては、市として正式に振った仮名が「カウエモンチョウ」となっております。地元では「カエモンチョウ」と呼んでいる方が多いのも承知しておりますが、皆さんが普段「カエモンチョウ」と使っているものについても、まったく構わないものと考えています。</p> <p>ちなみに、ご当主の方の読み名も「カウエモン」ですし、古い方にお聞きしますと「昔はカウエモンチョウと言っていた」という話もお聞きますので、元々どちらだったのかは正直はっきりしないのが実際のところですが、</p> <p>嘉右衛門町の伝建地区指定に当たり、文化庁との協議の中でこの件を相談したところ、「市が正式に振った振り仮名で申請するように」との指導もあり、この点についてはご了承いただきたいと思います。</p>	【左記回答要旨のとおり】
24	参加者	<p>自分の家にある文書が貴重なものかどうかは、内容を調べてみなければわかりません。実際には、文書の所有者でも内容についてはよく知らない方が多いと思います。</p> <p>そのような状況では市に寄託するのも難しいと思うのですが、誰がどのように文書を調べていくのですか。</p>	<p>文化課の職員には学芸員もおりますし、協力いただいている古文書の研究者もおります。県の文書館に見ていただくこともできるので、貴重なものが不明な場合でも、ご連絡いただければ内容はこちらで調べたいと思います。</p> <p>また、文書の目録の作成も行っており、目録を作成するとその文書群の性格が推察できます。市で探している文書もあるので、広報紙等を使い、ぜひ市民の皆さんにお知らせしていきたいと考えています。</p>	【左記回答要旨のとおり】
25	参加者	<p>芸術館の運営については、最初の2、3年はお客がたくさん来るものの、その後は客足が遠のき、しばらくすると施設の維持だけで莫大な金額をかけている館も全国にはあると聞いています。足利市の美術館では様々な企画展が行われていて、全国規模の企画展の賞を受けるようなこともありましたが、(仮称)文化芸術館ができれば、後のことも考えて運営を進めてほしいと思います。</p>	<p>(仮称)文化芸術館は、美術館を主とした施設を予定しており、全国的な企画展を開催できる部屋を用意したいと考えております。500㎡あれば全国的な企画展を開催できますので、それを踏まえて建物の設計を検討しています。</p>	【左記回答要旨のとおり】